シラバス参照



| ⊚ 科目名 | 機械学習 |
|-----------------|------------------|
| ● 科目名(英字) | Machine Learning |
| ※ ナンバリング | 1GAL41 |
| ── 年次 | 2年次 |
| ● 単位数 | 2 |
| ● 期間 | 前期 |
| ● 担当者 | 平嶋 洋一(ヒラシマ ヨウイチ) |

| ● 授業のねら い・概要 | 機械学習は与えられたデータを解析することによりデータの規則性を発見する手法であり、近年の人工知能の発展に大きく貢献している技術である。本講義ではまず、機械学習の基本的な考え方を述べる。機械学習の手法のうち、教師あり学習と教師なし学習について述べ、更にその他の機械学習の手法についても簡単に触れる。 | | | | | | | |
|------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------|---|--|--|--|--|
| ⊚ CS⊐ース | | | | | | | | |
| ● スパイラル ● 型教育 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | テーマ | 内容·方法等 | 予習/復習 | | | | |
| | 第1回 | 機械学習入門 | 機械学習とは。機械学習 の適用分野と事例 | 配布資料1-2項/配布資料1-2項(例題・演習などについ て予習2時間,復習2時間程度) | | | | |
| | 第2回 | 教師あり学 習(1) 基本的な考 え方 | 基本的な考え方について 解説する | 配布資料2-3項/配布資料3-4項(例題・演習などについ て予習2時間,復習2時間程度) | | | | |
| | | 表師あり学 習(2) 線形回帰 | 線形回帰について解説す る | □ | | | | |
| | * * 第4回 | 教師あり学 習(3) 二乗誤差最 小化 | 二乗誤差最小化について 解説する | 配布資料6-7項/配布資料7-8項(例題・演習などについ て予習2時間,復習2時間程度) | | | | |
| | 第5回 | 教師あり学 習(4) 汎化と過学 習 | 別化と過学習について解 説する | 配布資料8-9項/配布資料9-10項(例題・演習などについ て予習2時間,復習2時間程度) | | | | |
| | 第6回 | 表 数師なし学 習(1) ビッグデータ と統計量 | ビッグデータと統計量につ いて解説する | 配布資料10-11項/配布資料11-12項(例題・演習などに ついて予習2時間,復習2時間程度) | | | | |
| 🧶 授業計画 | | 教師なし学 習(2) 統計的性質 | 統計的性質について解説 する | 配布資料12-13項/配布資料13-14項(例題・演習などに ついて予習3時間,復習3時間程度) | | | | |
| | 第8回 | 教師なし学 習(3) | ↓ k-means法について解説 ↓ tる | 配布資料14-15項/配布資料15-16項(例題・演習などに ついて予習2時間,復習2時間程度) | | | | |

| | li. | ູ່ k−means法 | | | | | |
|--|---|--|--|---|--|--|--|
| | 第9回 | ↓ | _ 例題を紹介し小テストを実 _ 施する | 配布資料16-17項/配布資料17-18項(例題・演習などに ついて予習2時間, 復習2時間程度) | | | |
| | 第10回 | → 半教師あり → 学習(1) → 木構造と探 → 索 | ↓ | | | | |
| | | - + + 教師あり 学習(2) 状態、状態 遷移 | 状態、状態遷移について 解説する | 配布資料20-21項/配布資料21-22項(例題・演習などに ついて予習2時間,復習2時間程度) | | | |
| | 第12回 | | 価値関数について解説する | 配布資料22-23項/配布資料23-24項(例題・演習などに ついて予習2時間,復習2時間程度) | | | |
| | 第13回 | - + + 本 半教師あり 学習(4) 価値関数と 汎化 | 価値関数と汎化について 解説する | 配布資料24-25項/配布資料25-26項(例題・演習などに ついて予習2時間,復習2時間程度) | | | |
| | 第14回 | ┛ | まとめと中間テストを行う | 配布資料1-26項/配布資料1-26項(例題・演習などにつ いて予習3時間,復習3時間程度) | | | |
| | (1) 機械学習の概念について説明できる。 (2) サポートベクタマシンなどの教師あり学習の手法による識別や回帰を学び、簡単なデータに適用できる。 (3) k-means法などの教師なし学習によるクラスタリングの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 (4) 強化学習や半教師あり学習等のその他の機械学習の手法について理解し、原理を説明できる。 | | | | | | |
| 🥯 到達目標 | (2) サポー (3) k-mea | ans法などの教師 | Tなし学習によるクラスタリン· | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 | | | |
| 到達目標評価方法 | (2) サポー (3) k-mea (4) 強化 ⁴ 定期試験 | ans法などの教的 学習や半教師あ | 所なし学習によるクラスタリン り学習等のその他の機械学 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 | | | |
| | (2) サポー (3) k-mea (4) 強化 ** 定期演習の A:すずの基 C:Dの基 | ans法などの教的 学習や半教師あ と中間テストで記 と中間テストで記 合計20%) 「の到達目標がご 準を満たし 目標のうち3項目 | がは、学習によるクラスタリンリ学習等のその他の機械学 リ学習等のその他の機械学 評価する。授業時間中の小ラ ま好な水準で達成できている 達成できている。 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 習の手法について理解し、原理を説明できる。 | | | |
| 評価方法 成績評価 | (2) サポー (3) k-med (4) 強化性 定期演習の ト・演習の A:すすべる B:Dの達 C:D到達 | ans法などの教的 学習や半教師あ と中間テストで記 と中間テストで記 合計20%) 「の到達目標がご 準を満たし 目標のうち3項目 | では、受習によるクラスタリンリ学習等のその他の機械学 評価する。授業時間中の小ラ 良好な水準で達成できている 達成できている。 らに、到達目標のうち1項目以 が達成できている。 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 習の手法について理解し、原理を説明できる。 ・スト、演習も考慮する。(定期試験80%,中間テスト・小テス・。 | | | |
| ● 評価方法 成績評価 基準 | (2) (3) k-mei (4) 強化 (4) 強化 (4) 強化 (4) 強 | ans法などの教師ありませれる。 学習や半教師ありませれる。 と中間テストトでは、 と中間テストトでは、 この会話をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で | では、受習によるクラスタリンリ学習等のその他の機械学 評価する。授業時間中の小ラ 良好な水準で達成できている 達成できている。 らに、到達目標のうち1項目以 が達成できている。 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 習の手法について理解し、原理を説明できる。 ・スト、演習も考慮する。(定期試験80%,中間テスト・小テス 。 上が良好な水準で達成できている。 | | | |
| 評価方法成績評価基準教科書 | (2) (3) (4) サ k m e t | ans法や半教師ありている。 では、 | では、受習によるクラスタリンリ学習等のその他の機械学 評価する。授業時間中の小ラ 良好な水準で達成できている 達成できている。 らに、到達目標のうち1項目以 が達成できている。 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 習の手法について理解し、原理を説明できる。 ・スト、演習も考慮する。(定期試験80%,中間テスト・小テス 。 上が良好な水準で達成できている。 者名 | | | |
| ● 評価方法 成績評価 参考書 | (2) (3) (4) サk-met は は は は は は は は は は は は は は は は は は は | ans法など教師ありません。 「おいっと は と は と は と は と は と は と は と は と は と は | では、受容を表している。 できている。 でもないません できている。 でもない はました とば 単位 取得に 最なり組むことは 単位 取得に 最 | グの手法を学び、簡単なデータに適用できる。 習の手法について理解し、原理を説明できる。 ・スト、演習も考慮する。(定期試験80%,中間テスト・小テス 。 上が良好な水準で達成できている。 者名 | | | |

| _ | | | |
|---|--|--|--|
| 3 | | | |

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2012